

図書館だより 第1号

発行日：平成29年度 4月18日(火) 発行者：学業院中学校 図書教育部

入学、進級おめでとうございます！



さあ、今月はじめには満開の桜に見守られながら新1年生が入学しました。新しい命がたくさん生まれ、きらきらと輝くこの季節。生徒の皆さんの瞳も、新たな気持ちで頑張ろうとより一層輝いているようにみえます。

さて、春は出会いの季節——生徒の皆さんにはたくさんの本にも出会ってみたいと思っています。例えば、今の時期の書店に行くと、様々なジャンルの新作小説が所せましと並んでいます。最近の本は、表紙のデザイン性も高く、お気に入りの表紙を見つけて本を選んでみるのもよいかもしれませんね。

学校の図書館には、外国の作家の小説から、最近話題になっているもの、図鑑・資料集などがあり、皆さんの「今、これが読みたい！」をきっと叶えてくれるはずです。新学年のスタートとして何かに取り組みたいと考えている生徒の皆さんは、ぜひ図書館に足を運んでみてください。

知っていますか？「こども読書週間」

「こどもの読書週間」は、1959年(昭和34年)にはじまり、2000年の「子ども読書年」を機に、現在の4月23日～5月12日の約3週間と定められました。また、2001年12月に公布・施行の「子ども読書活動推進法」により、4月23日が「子ども読書の日」となりました。

さらに、この活動では毎年読書週間ポスターと標語を募集しています。昨年2016年の標語は、「いざ、読書。」「本とスクラム、読書にトライ」「感動の葉をココロにはさめ」が入選作品として選ばれました。ポスターについては、ホームページに掲載されていますので興味がある生徒の皆さんはぜひ見てみてくださいね。



◆ 読書推進運動協議会ホームページアドレス

<http://www.dokusyo.or.jp/jigyo/wakaihito/wakaihito.htm>

ホームページをのぞくと、「若い人に贈る読書のすすめ～成人・卒業～新たな一歩を踏み出したフレッシュなあなたに～」という紹介のページがあります。こちらも合わせてみてください。

おすすめの作品

学校の図書館にある本のなかで、おすすめの作品を2冊紹介します。

『桜風堂ものがたり』 村山 早紀



百貨店内の書店、銀河堂書店に勤める物静かな青年、月原一整は、埋もれた名作を見つけ出して光を当てることが多く、店長から「宝探しの月原」と呼ばれ信頼されていた。しかし、店内で万引き事件が起こり、その責任をとって店を辞めることとなった。以前よりネットで親しくしていた“桜風堂”という書店を訪れた月原は、そこで宝ものような一冊を巡って奇跡を巻き起こす——

2017年の本屋大賞受賞作品です。ぜひ読んでみてくださいね。

『虹を待つ彼女』 逸木 裕



2020年、人工知能と恋愛ができる人気アプリに携わる有能な研究者の工藤は、その優秀さゆえに自分の限界を感じていた。そんなとき、死者を人工知能化するプロジェクトに参加する。試作品のモデルに選ばれたのは、カルト的な人気をもつ美貌のゲームクリエイター、水科晴。彼女が過去に作成したゲームと彼女自身の行動に戸惑う工藤だったが、次第に彼女の人柄に共鳴して惹かれていく——

第36回横溝正史ミステリ賞大賞受賞作です。一度手に取って読んでみてください。

前期の放課後開館曜日・時間が変わります。

図書館の放課後開館曜日・時間が変更になりますのでお知らせします。また、本年度より新しく永淵先生と見平先生お二人に図書館のお世話をさせていただきます。利用マナーを守ってみんなが気持ちよく利用できるようにしましょう。

《前期》放課後の図書館利用可能曜日・時間

* 木曜日 15:30～16:50

* 金曜日 12:30～16:50